四

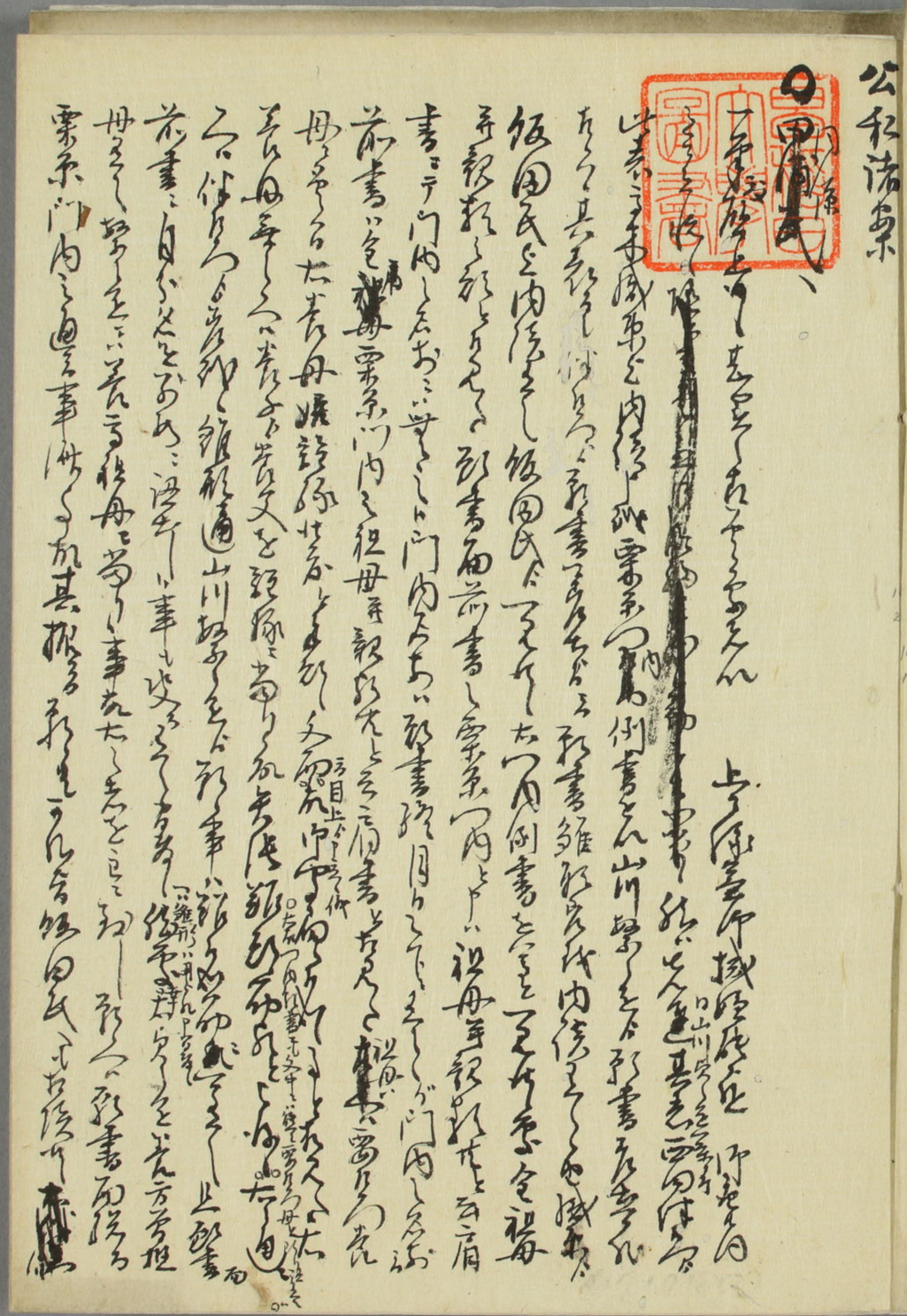
慶應丁卯夏六月ヨリ
明治己巳秋七月迄

公私諸案

服部文庫
イ 17
2187
10

117特
2187
10

公私法案



○私　伯氏ノ林家ノ付

○同係、

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

○日

○業平卿歌

○同歌

[illegible]

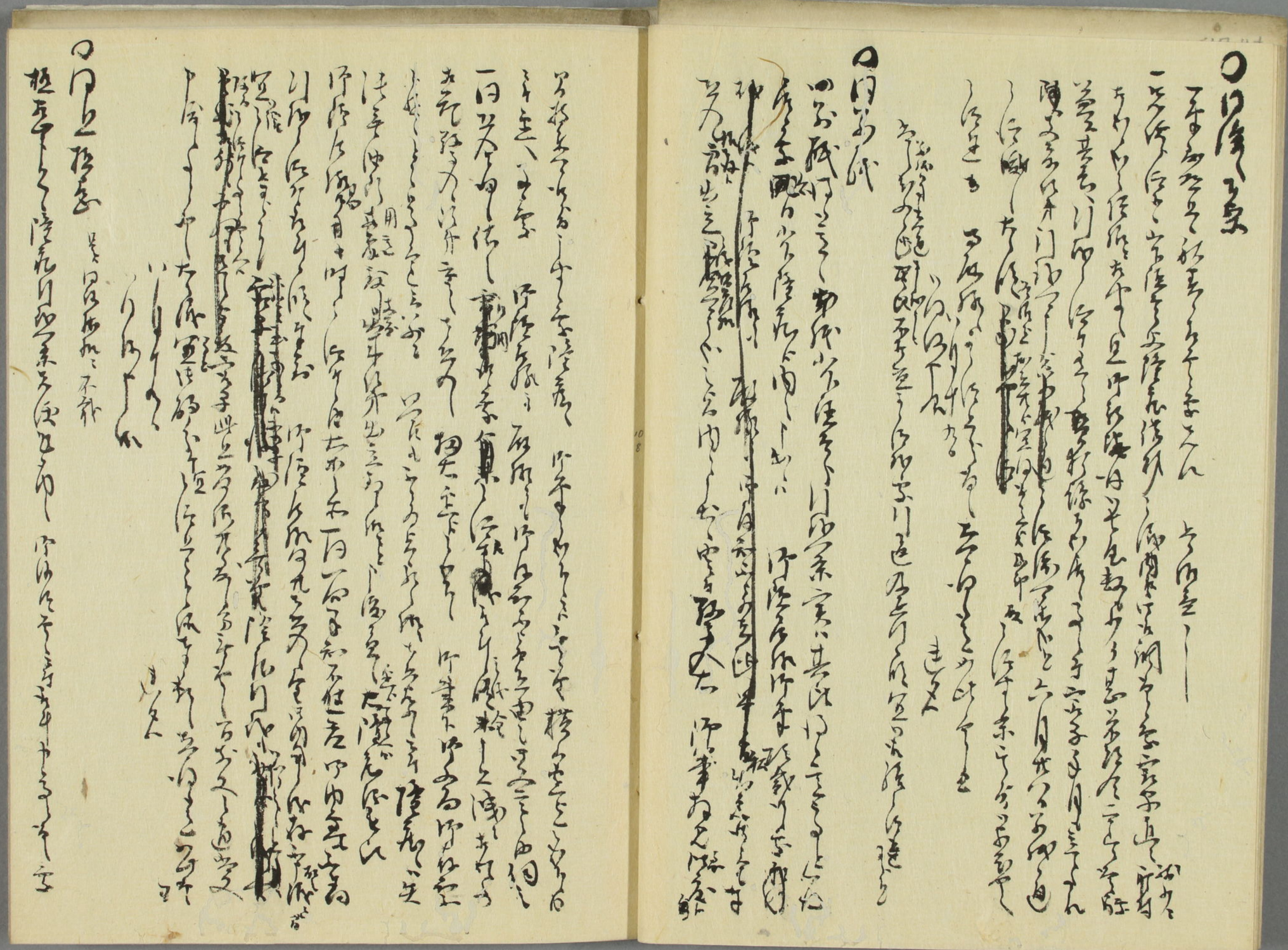
[illegible]

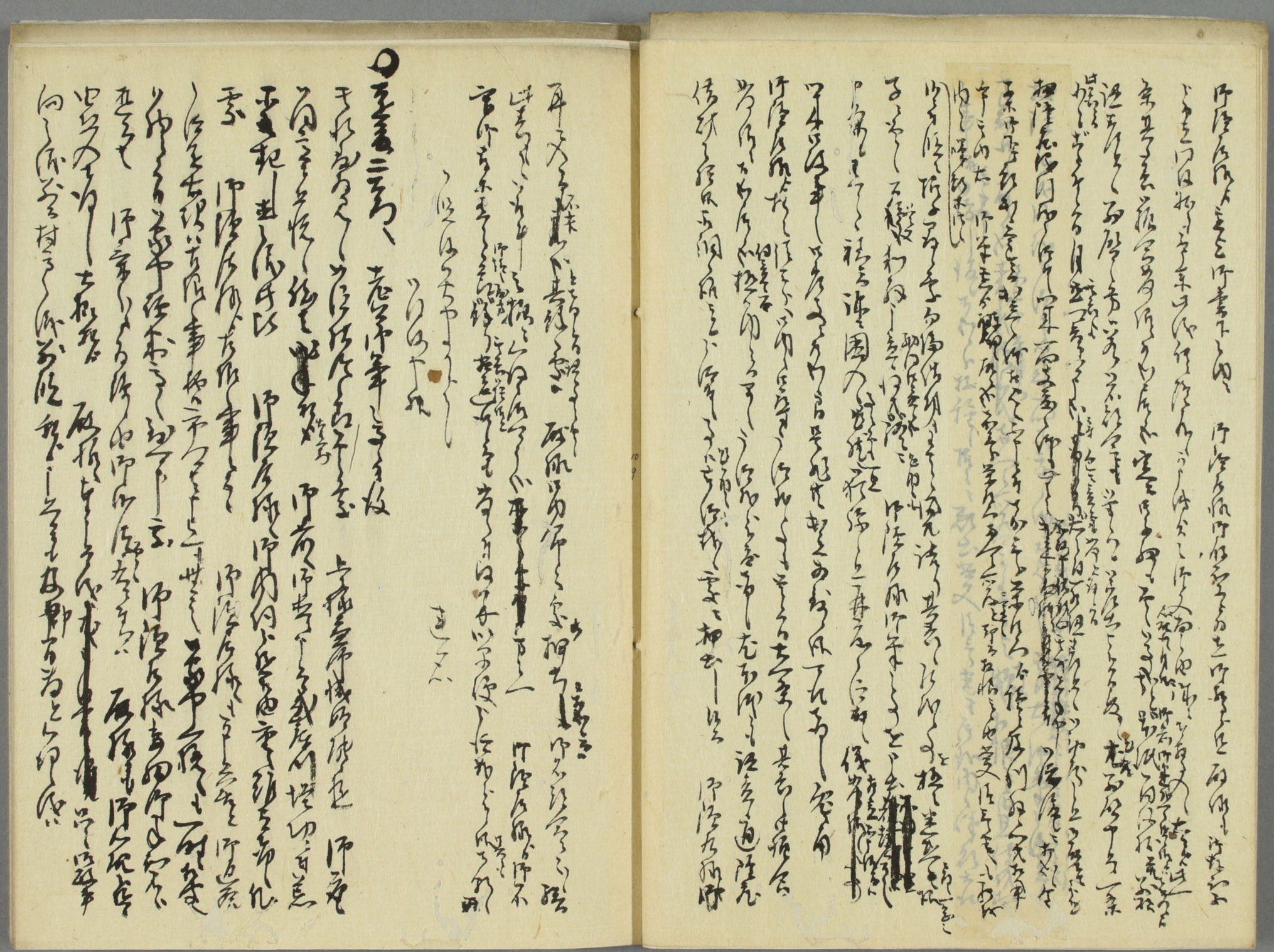
吐[illegible]

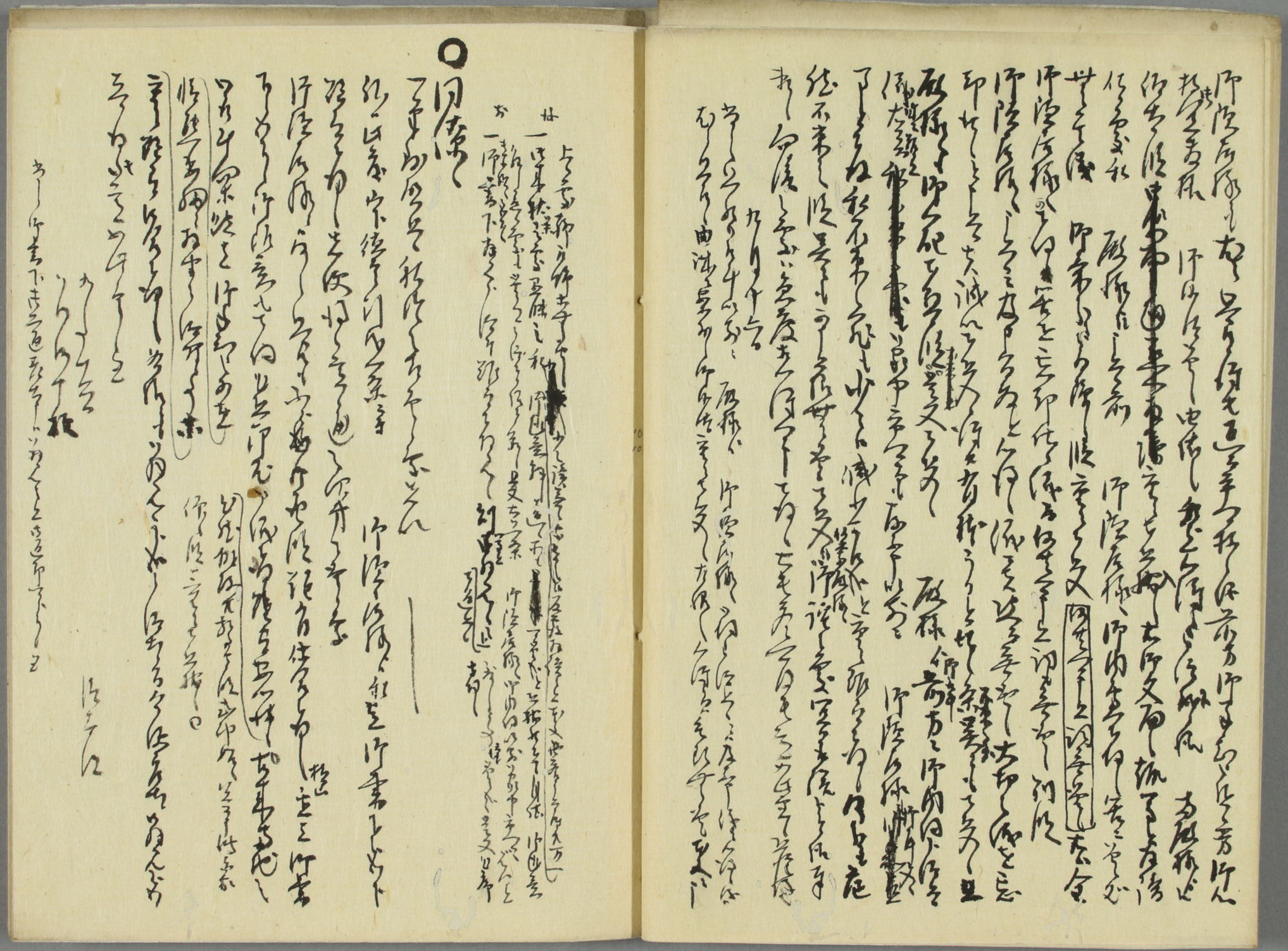
[illegible]

○四国路

○山陰路







○山崎闇斎

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

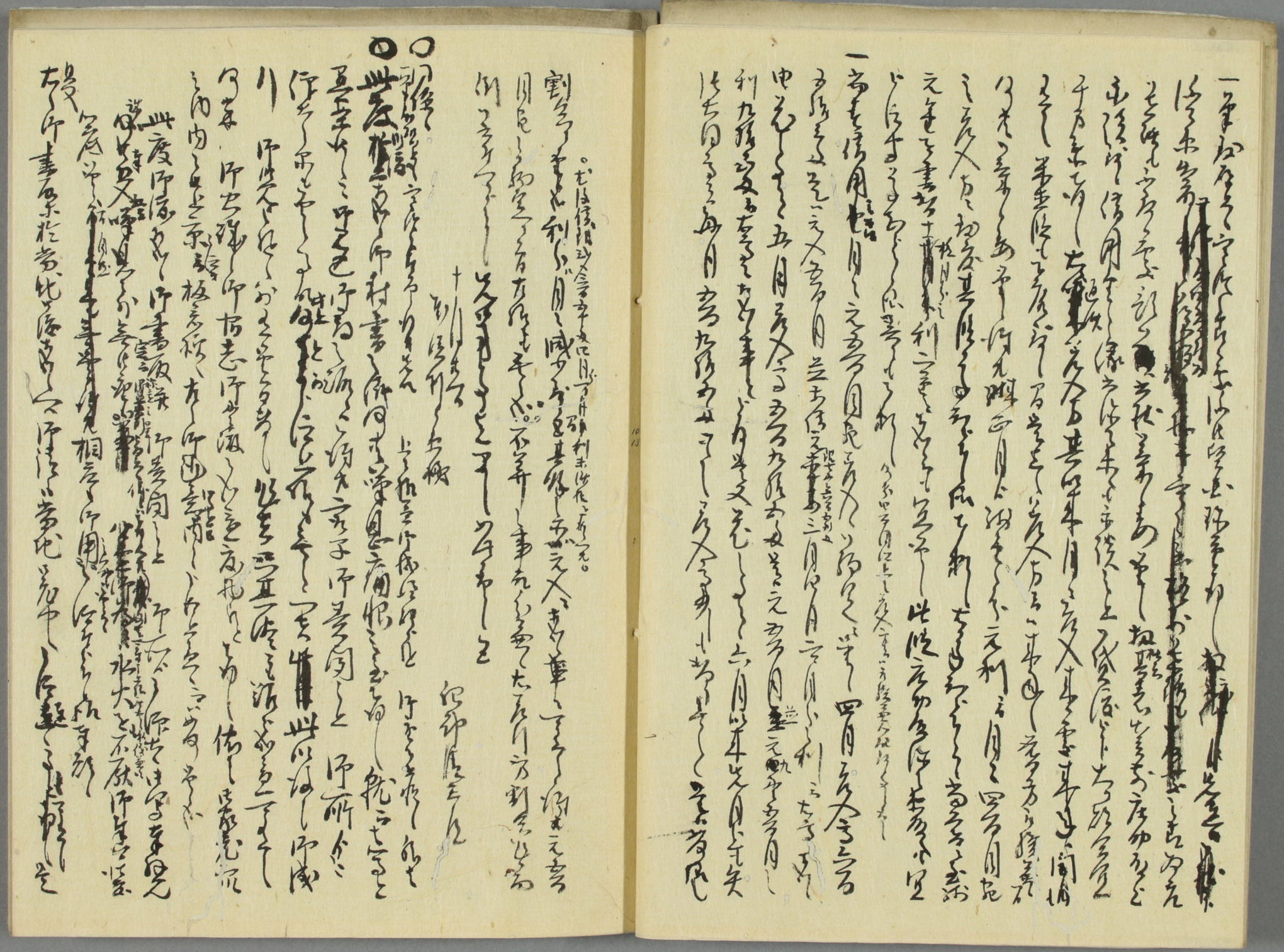
[illegible]

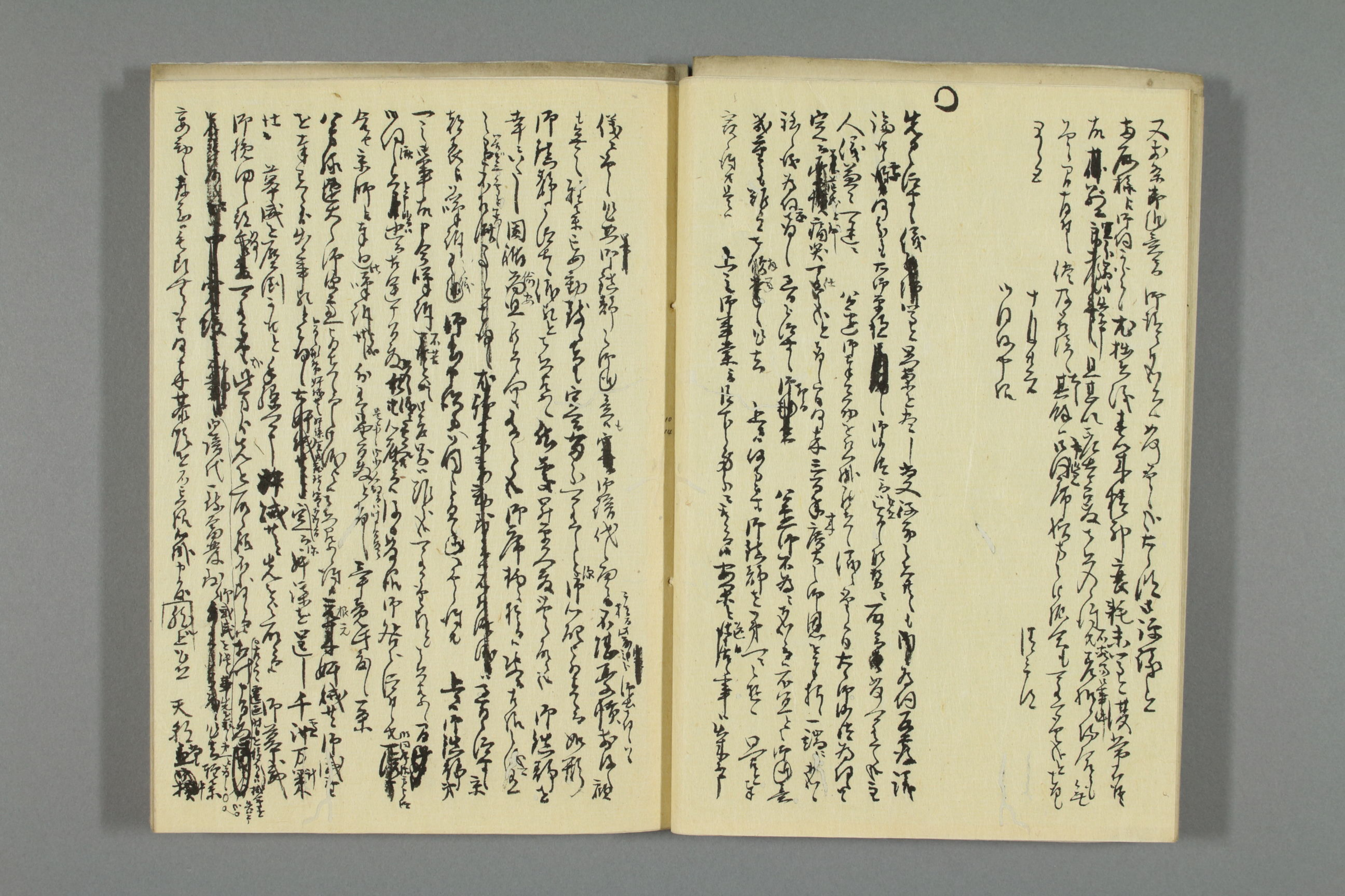
一 [illegible]

[illegible]

○[illegible]

十月[illegible]

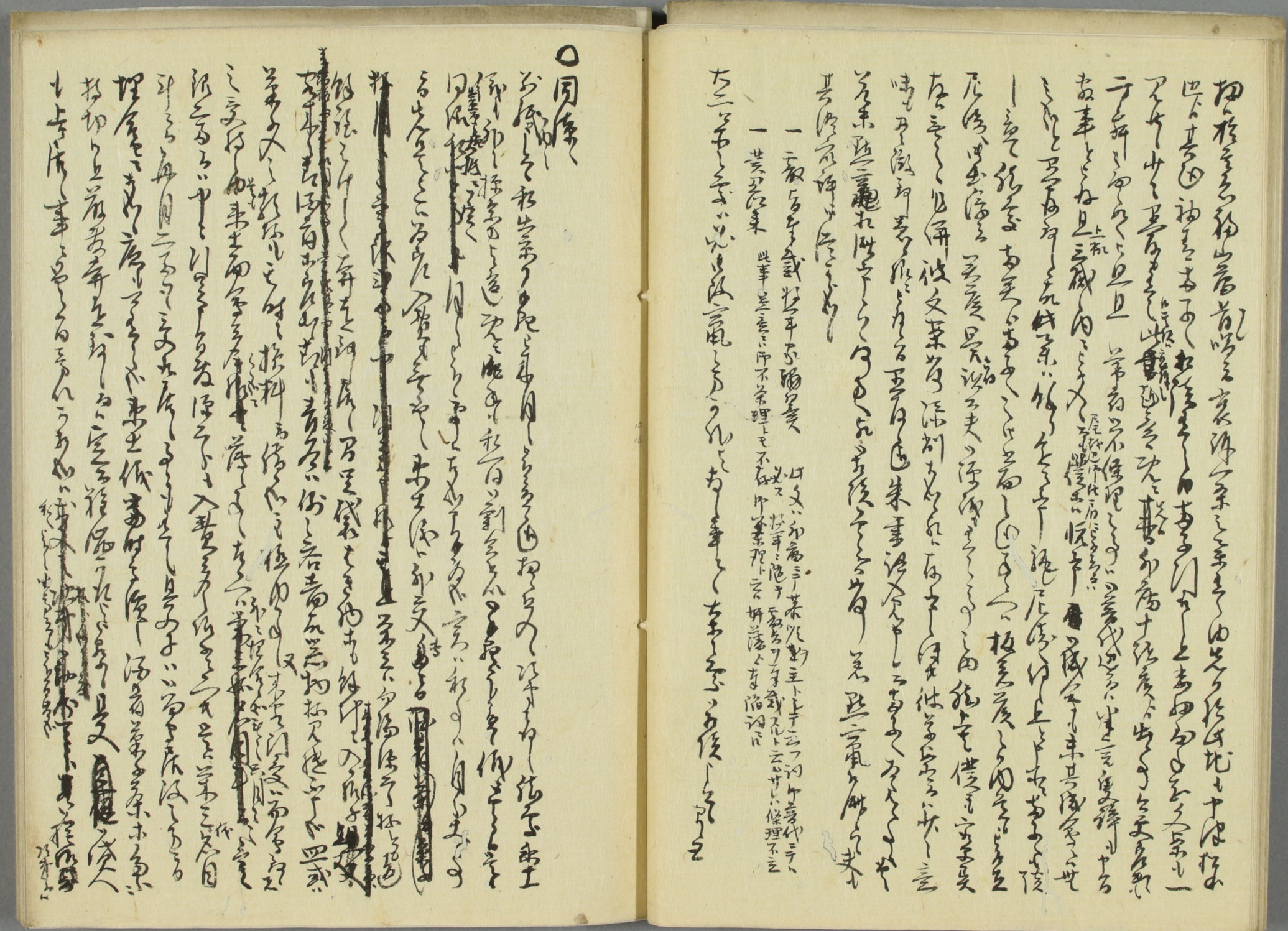




[illegible]

[illegible]

[illegible]



以上丁卯冬被仰出書

戊辰吉歸板

○仲氏碑銘書候ものの仮書

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

藩職制

議員
道長
拾長

執政
参政
辨事
書記

○会計事
副知事
判事
書記

○知民政事
副知事
判事

執政
参政
辨事
書記

○家老
○側用人
○目付
一等
二等

執政中ヨリ
元ノ側用人
方

執政中ヨリ
元ノ目付
方

用達
会計事
紙幣
会計事
判事
書記

○刑法事　既任中ニ兼
刑法刑法事　[illegible]
判事　大小佐官

○知事事　既任中ニ兼
刑知事　[illegible]
判事

○公議人　二人　外二文

公用人　[illegible]
書記　[illegible]

○東西京知事事　[illegible]

○宅家事　[illegible]

兵隊
長一人
副長一人
大隊一人

○左目録

上稟議事　[illegible]

[illegible]

政体書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○肥後分、

十三ヶ年以前ニ成り候て、加州ハ一国ニ付、
上ヶ様ニ御成り候ハ、肥後ハ一国ニ付、
ヶ様ニ成り申し候ハ、長州ハ三万石ニ付、
世俗ニ十二万石ニ成り申し候ハ、

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○改革之議職制

執政
参与
侍従
書記
議事人
公議人　一人
公用人　三人
書記

○公務局

○会計局
長
副長
属

○改革之議職制

執政
参与
侍従
書記
議事人
公議人　一人
公用人　三人
書記

○公務局

○会計局
長
副長
属

○民政局

長
別長
属

△出納所

長
属

兼管秩禄

△用度所

長
属

△営繕所

長
属

△紙幣所銀札引当所

長
属

此所廃止租税所ヘ併セモ可ナリ

△租税所

兼管秩禄

掌市郷庄都ノ田宅租税并秩禄山林陸防水利
社寺并此佛ヲ兼管社寺
教化知賞刑

○軍務局

長
別長
属
書記

△陸防所

長
属

△船舶所

△社寺所

○刑部局

長
別長
属
書記

執政ヲ差

兼掌

落中名籍

掌兵隊軍備

此不別載

家門改ヲ度ヒテ大小性男女ヲ併

列長　越前人
屬

△五等官所
長　[illegible]
屬

△舟船所
△馬政所

○兵隊

兵隊
長一人　武官執政ヨリ兼
副長一人　執事ノ職等
軍監一人
參謀一人　○此三官軍事ヲ掌ル
司令士官
[illegible]導
[illegible]手　[illegible]ハ戰役ト雖ドモ

○知家事　[illegible]所文記　掌總判内家庶務

○東西京都
知事　執政ヨリ出

一　[illegible]ト作出シタレモ[illegible]官ヲ[illegible]トシ司ヲ所トス
一朝廷ノ三官ニ準スルモ殆アリ依テ知事ハ長トシ判事ヲ[illegible]トス一作屬ノ名[illegible]
判事ニ少ク不相當ナレモ屬ヲ名ニテ耳ニサル故用ニ所ハ方トニガ如モ
二　一諸百長ハ執政副長ハ役人諸所長ハ給人役諸屬ハ大抵本性副長ハ參議ヨリ[illegible]
三　一酒間誌　此三官ハ[illegible]副隊長トスヘシ[illegible]家老病ト雖副隊長ニナラサル際ハ平士列タルヘシ[illegible]
四　一取次　[illegible]他諸使節列業ノ左右ハ作使者ヲ併ニスヘシ年
六　一軍師　[illegible]長者ハ副隊長[illegible]ハ不堪[illegible]ハ[illegible]參謀ノ名目[illegible]
朝廷ニ參議有テ軍師ナシ宜シ　朝政ニ體語スヘシ　參謀ハ[illegible]役ニテ[illegible]
五　一[illegible]ノ職掌　當時伝達ノ事トス名実不相應目付ノ称ハ法官ノ称ヨリ少ク
七　一社寺ハ神祇官ノ職ニ屬ニ神祇官ノ職ニ屬ニ[illegible]
十六　一宮門改ハ廣ク社寺所ニテ差テ可ケリ

十七 一刑懸改 以廃官ニ付大小性月分ニ併セテ以付

十八 一土砂留 此役院ニ止ル勤不待論

十九 一風廻 以廃

二十 一以上ニ付書 大ニ減少スヘシ

廿一 一右役以下庶 當分見合添役ニ付

廿二 一給ヲ以役料ハ在職ノ人ニ限ル(職務ニ付)席格ハ役料アル(カラス)壁ハ他ノ役ニテ以役人格或ハ席ノ如キ皆役料准シタルハキコヘサルコト

以役人格或席ノ用人格或席ハ役料ヲ下サン 席格ハ定サルニハ只夫ニ役ヲ勤ルトハ其役丈ノ入費アルニ付以役料下サルヘキ間シナシ 雖

其人ノ位次ヲ進メ下サルヘコトニテ其役ナキ時ハ役料下サルヘキ間シナシ 雖

其役ニ付役料ハ役料ノ役料ノ役料ハ中正然ヘシ 特前ノ役料ハ

廿三 一所中元ノ息家督ニテ以用人格ト云ハ例モ中正ノ役ニ其息ノ器量ト勤学ト二依ルヘシ

廿四 一書ニ役官吏ハ省キテ

廿五 一大ニ学校ヲ中ハ之ヲ学ヲモ一所ニ中ニ学ヲ人才ヲ生育ス

一門閥ノ度ノ人才ヲ用ル 朝廷ノ中ニ学ヲ人才ヲ用ル

下併其才能ヲ以ト中ニ選ス(根ニ登用スル時)五十歩百歩(ナシ)却テ害ヲ生ス此一条ハ至極人命ノ度事

八 一以上之事行ハ(ニテ)租税(ハ)秩禄ヲ兼併ス 組税ハ地方ニテ民政ノ所管ナレ共 秩禄ハ(ニ)給(ハ)ニテ財政ノ所管ナレ共 改職ニ基ク所ノ出納ハ兵役禄

編成ニ付ク秩禄ハ出納ノ中ニアル故ニ出納所ノ名ヲ以 軍元ニ変ス 事務ハ二所ヲ兼

九 一以官ハ収税事務ヲ一派別ナル様ナレ共 組税(張ハ)ハ(身ノ軽キ)ハ(ニ)ハ(ニ)ハ(ニ

舊ニ依テ云々

三

一右諸局諸所ノ属ヨリ下吏ニノ外ハ悉ク書生ニ及ヒ候ヨリ

五下

○一大小性目付ノ置所甚雑シ是ハ諸藩ヲ比較シテ寡ト雖モ為ル所ノ目付ハ他ノ大目付ニ相当スル者ハ元来目付ノ名アレハ又法官ナルヲ疑ナシ

大小性目付ハ他ノ目付ニ相当スル者ハ元来目付ノ名アレハ又法官ナルヲ疑ナシ

二通ノ属トスル者ハ他ノ属ヨリ多ク置ク

依テ執法ノ大属トス　本朝ノ古ハ省ノ属ニ大属少属アルヲ借用

五下ノ次

○一武庫川神崎堤支配ハ一役ニ併スヘシ　播方川後方ハ甚属ナヘシ山方二段方ハ

〃甚定方ニテ勤ムヘシ

五下次

○一作所代ニ吟味役ナシ先年一度作設ミナリタレ共作不都合ニテ作度ニ成タリ　播州ニ

作所代ハ役ノ名見エ是等ハ属ノ職ニアラス

廿六

一當時　朝廷作所諸藩ニテ嘗而法ヲ作ル

宗ト大事藩ニテモ商法無ク故ニ大益甚シカラス金計ハ商事ヲ専ラ営業有タル是法

町人ノ作名ニテ運業シテ用ユヘシ

一作例ハ用人ハ作政事ヲ扱ヲ格別ノ役ナリ作物頭ト日扶ノ序ナルヲ以テ此度

朝廷ヨリモ執政参与ハ重役トシテ聊常ノ作書生ハ方ハ未作物頭ノ上ト作実務ハ

作物頭ハ但ハ概ハ扶ハ不叶ヘシ京都ケシ此旱急一但ノ是程ノ預ヒハ作役人ノ上

序位ナルヘシ

○作書上　職制案

政事堂

執政

掌醍醐

朝政輔佐藩主一藩綱紀無不任

参政

掌参政事一藩庶務無不要領

陪臣

書記

筆生

○議員

掌承執政命講究得失條陳意見

△議事ニ制權ハ二途

按議

掌講究得失按庶務遺漏

通意

掌講究得失ニ上下情意

右ハ　朝廷議事御體裁ノ確定ニ付相改ム心得ニ付之ト

一　公議人　一人　掌事局　朝令代國論備議員

公用人　三人　書記

一　會計長　一人　執政兼ス　副長一人　属二人

掌幹理出納事務

一　民政長　一人　執政兼ス　副長四人　属　營繕所長　紙幣所長

掌幹理中外庶務田宅租稅山林堤防水利

租稅所　堤防所　社寺所　高岡所

一　軍務長　一人　執政兼ス　副長二人　属

掌幹理兵器軍備

兵器所　舟船所

一　執法長　一人　執政兼ス　副長三人　属二人　筆生

掌遵守法律監察糺彈捕亡斷獄

一　知家事　二人

掌幹理内家庶務

一　東西二京邸　知邸事　各一人

右ハ通職制相立ル

一　兵隊　兵隊長一人　副長一人　司令士　醫師

右ニ通職制相立ル

兵隊中旗奉行錦奉行法度奉行ノ名目ヲ以テ隊ノ名目ヲ以テ隊ノ名目ヲ以テ

朝廷ニ出仕ス中ヲ以テ若隊ニ所左ニ

朝廷ノ所旗號格別ノ二候事

右ハ西京ノ及候共ニ所出仕者ハ中長官ハ出来ス

朝廷ノ所法ニ必長同前ノ四等役ヲ以テ

改ニテ兼ル者ニ結リ副ト属トノ二等役ニテ事務ヲ

一是ニ書中ノ所下ノ所中右等ニ

ノ所係ニヤニヲ以テ

一　兵隊ノ所法ニ

ヲ以テ

○尼同列ハ

一　筆生等高ニ高ニ高ニ

然ル共ニ　所ニ當法職制ニ係定ニ

上ニ掌ニ所職ニ

[illegible]

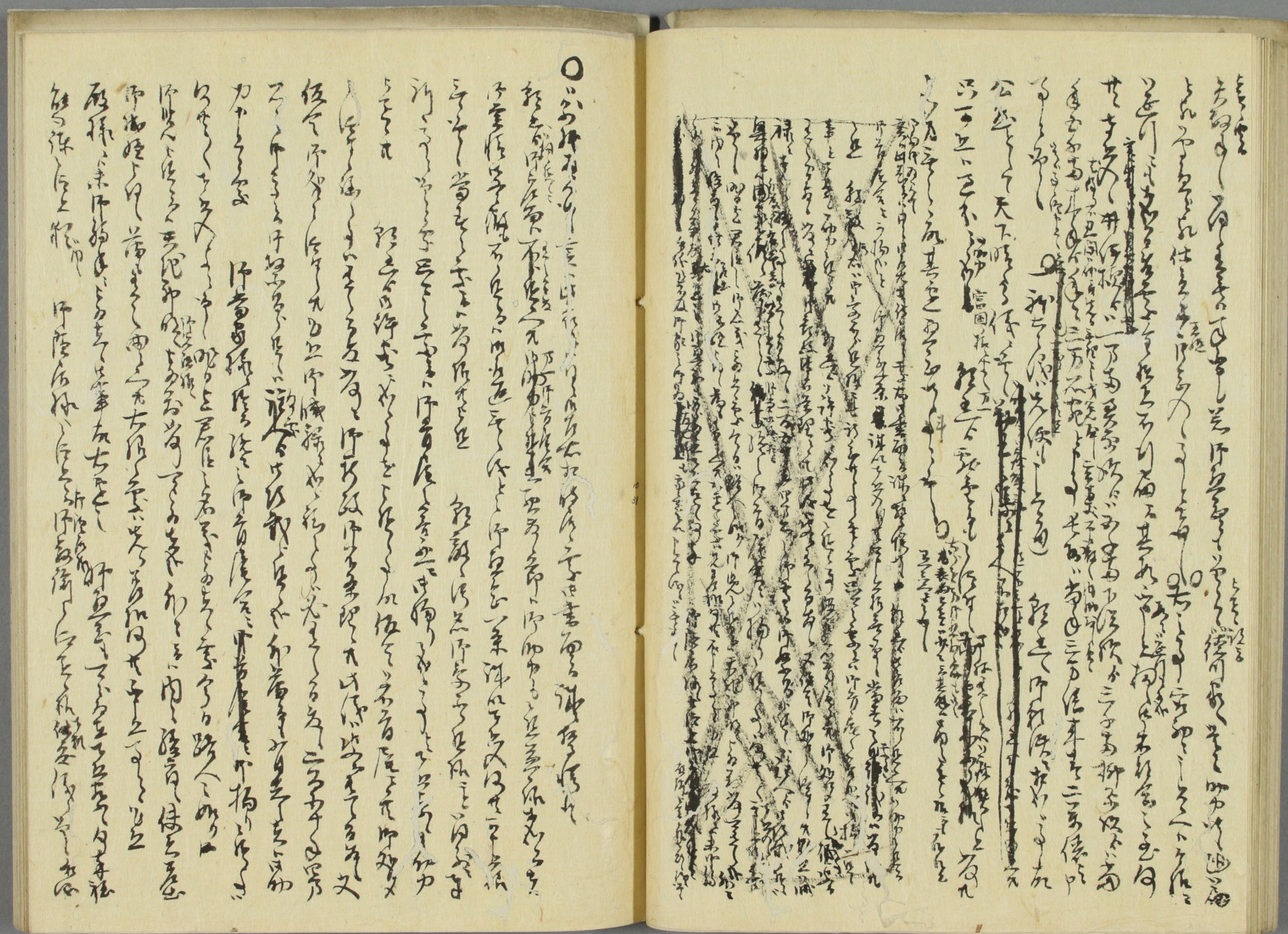
朝廷ニ作法ヲ[illegible]

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

○[illegible]



○又

○又

○戦制等級

等	職	官
一等	執政 隊長 諸局長	城代
二等	副隊長 参政 知事	
三等	小隊長 諸局副長 公用人	
四等	知家事 社寺奉行 使者	近習 使者 奥家老
五等	諸一所長 公用人 半隊長	執法官 奥
六等	諸局副長 諸一所副 公用人試補 書記	奥所 近習頭
七等	執法官	町方与力
八等	学生 等生 組頭	
九等		

一等級ハ位階ノ如シ

○三等以上ハ下ノ者

一作用席ハ参政同等ト作出サルニヨリ作法一所文配席ハ知家事同等ト

一作用人格ハ準二等 作法人席ハ洞二等 儀式人格ハ準三等 給人格ハ準五等 大小性格ハ準六等 学生ハ準十字ノ用ヒ方同シ 作近習作法者ハ役名不称ヒ作近習格使者格ニテ

一在戦役ノ者 戦ト等級ト相当ヒ子細ナシ 給人或ハ陪ト大小性ニテ 執法大属 仰付ラレ

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [

○同列、

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一匹夫大家名分ヲ重ミ○略後ニ出ス

一封土ヲ奉還シテ　○夫封建ノ主意天子代天下ヲ治メ玉フ一人得ヲ恢復シ以是以封建諸侯ヲ分ツ隨ヒ各其封土ヲ治メシム譬ハ割普請ノ如シ各相勉励シテ其成ル所モ字固ナリ是天下後世ヲ維持スル所以ナリ　豈名列藩ト云ヘル其実ハ天子ニ吏ニメ治天子ニ土モノナリ豈私ニ奉還スルヲ得シヤ

一永世不朽ノ　皇基ヲ立ル所ナリ　○此文器臣ノ最惑フ所ナリ器臣窮ニ古今ノ成敗ヲ覩ルニ周封建諸侯子孫相承ル八百年其末諸侯ノ強豊庭大ノ事ニ不係ル故ニ七國互ニ夫家政ヲ強ニ為テ天下ノ邪悪ニ ニス有天下僅ニ四十年漢興相繼テ普ニ至テ諸侯ノ強国漸ク弱シ加モ仍患ニ ニ陥ル鎮ノ敵ノ五代ニ至テ亦其強盛ニ不堪是陳府ノ脳ナリト雖ト今ノ大勢ナリ　然ハ制取其ニヲ得ハ諸侯ノ所ヲ解ハ藩ヨリ憂ヲ失ハ邪悪ヲ解ス天下ノ憂ヲ除ク其ノ悪ト雖ト朝ス人所ハ皇猷ノ得失ニ在リ広ク承ルニ花旗合衆國ト長崎ノ割據ノ勢ヲ同カス然ハ永世不朽ノ　皇基ト云ハ公明正大確然不拔ノ國憲ヲ立ル ノ係ル所ニアラス

○表

一普天率土其有ニ非ルハ無ク其臣ニ非ルハナシ　○西洋諸国ヲ私有トスト聞リ

一抑臣等庭ニ所ハ即既ノ土臣等殺スル所ハ即天子ノ民ナリ　○不待論

一安ソ私スヘケンヤ　○今日ノ土地人民皆　朝廷ノ所賜豈私スヘケンヤ

若シ之ヲ奪ハンニハ　朝ニ奪ヘテ夕ニ奪フ者ニテ大體不立ヘシ

カラ不立ト云ヘシ大體不立ハ何以億兆ニ臨ミ玉ハンヤ

一制度典型軍旅ノ政ヨリ戎服器械ノ制ニ至ルマテ悉ク　朝廷ヨリ出テ　○諸侯　朝政ニ奉職　朝憲ヲ遵守セハ制度典刑軍政器械皆朝廷ニ出テ天下ノ事大小トナク皆一ニ歸セン版籍ヲ収ムルト不拔ニ関ルニアラズ　安年政体ヲ頒行シ玉フニ地方官ヲ分テ三トシ玉フ別藩即チ天子之吏ナリ豈名自ニ制度典刑ヲ異ニスヘケンヤ若シ異ニスル者アラハ討之而阿公明正大確然不拔ノ　皇猷御確定相立ハ萬三百諸侯皆一團隊ノ指揮ヲ使フト同カラン　然ハ指揮ヲ不立朝令ノ政如シハタトヒ能令行ハレ郡縣ト成ルトモ天下皆疑ヲ抱方寸ヲ知サルニ至ラン真ニ杞憂ニ堪サルナリ

○前撥文中脱漏

一宣ヶ連ニ大義名分ノ実事ヲ挙　○去年一朝廷改體ヲ頒行シ玉フニ地方官ハ為ニ三口府藩縣然レトモ藩主ハ天子ノ吏ニメ天子ノ土地人民ヲ治ル者ナリ　藩屏ノ主意此ヨリ外ナラス大義名分ニ於テ不當アリヤ甚実事トハ何般ノ事ヲ指玉フヤ

○所撥文ハ天任及封土ヲ奪ヒ一郡縣ノ制度ニ復シ法令ヲ一定シ万国ノ事ヲ一ニ上ノ法令ニ出ル事ヲ以テ一国ヲ統ル所ノ一端ニ過ス　上ノ時勢ニ変革大法服ヲ以テ時ヲ異ニ[illegible]

○藩長ヲ撥文疑義

所撥文ハ天任及封土ヲ奪ヒ一郡縣ノ制度ニ復シ法令ヲ一定シ万国ノ事ヲ一ニ上ノ法令ニ出ル事ヲ以テ一国ヲ統ル所ノ一端ニ過ス　上ノ時勢ニ変革大法服ヲ以テ時ヲ異ニ[illegible]

一諸侯未ダ土地人民ヲ私

去年ノ維新ニ当テ勤王ノ別藩ニ不及論ノ疑ノ藩ニモ即諸侯ノ上ノ疑解ニ及ヒ皆本領安堵被　仰付又徳川氏ハ新ニ七十萬石ヲ賜リ奥羽抗敵ノ諸藩モ降伏謝罪ノ上ハ削奪有之

テ新ニ若干ヲ賜フ今日諸侯ハ皆　朝廷ヨリ賜ハル所ノ封土ニテ散
テ私スルニ非ルヘシ

一所在其制度ヲ異ニシ其政刑ヲ專ニ寺ニス
政刑制度ヲ一ニスルハ　朝廷ノ所處分ニ在リ　朝憲所確定
ノ上ハ列藩不日風化ス

一國力分離シテ我日本ノ一小國何ヲ以テ海外萬國ノ交際ヲ遂ケ何
ヲ以將來興國ノ標準ヲ立ンヤ
藩屏ナルハ何ヲ以四方ヲ守ラシ去年奥羽ノ乱久保田藩賊中孤
立シテ確然不動當時此藩ナクンハ鎮定不得速ヤ何ニ府縣ヲ厚
國ニスト雖モ藩屏ノ君臣ノ義ヲ以父子ノ恩アル民ヲ率ヒ王事ヲ為
ニ及ンヤ割據ノ勢ヲ成スモ亦
朝廷ノ所處分ニ在リ大體確立
シ大權不移ハ天下密如ナラン是不朽ノ美事世界萬國ニ冠
タルヘシ誠ニ興國ノ良法何況外國ノ交際ヲヤ

一速ニ大義名分ノ實事ヲ挙ケ
去年　朝廷政體ヲ頒行シ玉フニ地方官分為三曰府藩縣ト

然レハ藩主ハ天子之吏ニシテ天子ノ土地人民ヲ治ル者ナリ藩屏ノ主意此ヨリ外ナラス大義名分ニ於
テ毫犯スルヿ有之ヲ或其實事ト何般ノ事ヲ指玉フヤ

一封土ヲ奉還シテ郡縣ノ制度ニ復スル事
夫封建ノ主意天子代天天下ヲ治メ玉フ一人得テ治ル能ハス是
以封建諸侯大小ノ分ニ随ヒ各其封土ヲ治メシム譬ハ割普請
ノ如シ各相勉勵シテ其成ル所モ牢固ナリ是天下後世ヲ維持
スル所以ナリ名列藩ト云ヘトモ其實ハ天子之吏ニシテ治天子之土モ
ノナリ豈私ニ奉還スルヲ得ンヤ

一永世不朽ノ　皇基ヲ立ル所ナリ
此所語愚臣ノ最惑フ所ナリ愚臣竊ニ古今ノ成敗ヲ観ルニ周封
建諸侯子孫相繼ハ八百年其末諸侯強盛尾大ノ患ニ不堪終ニ
七國五三ニ至ル秦改其弊ニ懲テ天下ヲ郡縣ニス有天下僅ニ四
年漢魏相承テ晉ニ至リ國力衰弱シ加以郡縣外患終ニ篡
ノ設アリ五代ニ至テ亦其强盛ニ不堪是陳腐迂ノ論ナリト雖モ

漢土
古今ノ大勢ヨリ出シタル制度其宜ヲ得レハ藩屏ト為シ藩屏トナリ度
ク其宜ヲ失ハ郡縣忽チ解ス郡縣ノ制必ズモ長策ト云ヘカラス
抑天下ヲ維持スル其制ノ所関大ナリト雖朝廷ハ且ツ一二ノ郡縣ニ
皇猷ノ得失ニ在リ仮令ヒ承ル所ニ花鳥合衆国ト雖方今割據
ノ勢ヲ成テ国国ノ患ヲ釀スヲ聞カス然レハ永世不朽ノ
皇基ヲ移スヘキ者ハ公明正大確然不拔ノ國家ヲ立ル二在テ
郡縣ノ制係ル所ニ非ルヘキ歟上書百候

○因ス、
一本ニ云ク、
郡縣沿革ノ事ハ
祖宗ノ成ル典ニ遵長秋月松ノ樹又ハ幹事ヲ
有ル者ニ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○同ジク

一事ニ付テハ　　必不可言ニ

又旦ハ一郡ハ　　肥後国

郡ニ付テハ　　郡ニ

況ンヤ　　長崎ニ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天皇[illegible]

[illegible]

月日

[illegible]

[illegible]

○帝國議會ノ設ケ[illegible]

第一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第三　第四

前論スル所ハ皆ノ持論ナリ然ルニ必ズ私心ヲ去テ公理ヲ求ムベキアラズ凡天下ヲ治ル聖上上ニ在シ群賢下ニ勤何事ヲ為テ治ムヘカラザル所謂其人存則其政挙ル者ナリ封建モ亦治リ郡県モ亦治ル然レ共浦身

封建ノ衰運ニ属スルヨリ之ヲ興復セントスル者ハ必ズ其措置ノ得失ヲ講セスンハ

曷屋ニ天運ハ必ズ衰運ニ

トモスル時ハ其人ニ則其政想モナリ是消息盛衰ハ天運必不免

所謂大体ヲ備スルニハ必ズ

故ニ

ノ時ニ当リ求スルハアラス方今

ノ時ニ当リ求スルハアラス

維持スルハ封建ニ限ルニ何ヲ以テ是ヲ知ルトナシハ今日ノ伊伯新ハ全ク藩ノ力ニ依ル

然レ共

皇国ノ人情

皇室ヲ親愛スル者アラス然レ共

御国体ノ衰ヘモ三隅必動モセン盛衰ノ運アリトス尼金既ノ無欠ニ害

ナシ

朝廷ヲ振興シ大権ヲ立大信ヲ信ノ

令改テ国書ヲ賜リ藩屏ヲ建置シ

其主僕ニモ分君臣ノ

ノ名ヲ假シ教ルニ大義名分ヲ以セハ大差伯新ハ賜ヲ受ル者ノ如ク仰

勉勵必無強ノ聖皇ニ若キ美チン萬一外国観親ノ憂アリトモ大ト

戾伯ハ敵愾ニ敢シ陸ハ

ノ富活産ノ兵ハ即チ天子ノ兵ナリ

強兵ト云

三セハ雄鎮大府ト雖其管轄スル所ハ招募兵ナリ其銃駆ル者ハ新進

ノ将ナリ真ニ其器ヲ得ルニ非ハ瓦解ノ憂ナキヲ保セス某藩ヲ焦心苦慮

郡県ニ就テ国力維持ノ良法ヲ求ルニ未其方法ヲ得ス自反

然レ共

大事件敢テ不問時論ニ阿ラス謹テ

我ガ国体郡県ニ似テ郡県ニアラス封建ニ似テ封建ニアラス六百年

来自然漸靡ノ然ラシムル所ナリ今一旦強テ之ヲ改ニ帰セントセハ必人情

ニ悖ル者アラン

朝廷ニ於テ大体確立シ大権不移制度改刑必

一出ニ改書貫ニ仍ト云ヘリ

御国体維新ノ美事ナリ

措置

一制度刑法ハ軍制凡倍ニテ　朝政ニ體認（キ事）
一歳ノ終ニ各藩ノ治官ノ殿最ヲ表上スベキ事
一三年毎ニ巡察使差下サル（キ事）
右三事ハ三治一致ノ理ヲ明ス所以ナリ其他藩治庁委任云々
一軍役軍資金光ノ怠慢有ル間敷事
一最寄ノ府県ハ親睦シ緩急可相救事
一各藩其任界ヲ忘シ相接スベク禮讓ヲ以相親ム（キ事）
一大小諸藩更メテ璽書ヲ可下賜事

○藩籍返上ニテ封建説ヲ唱フル論

或曰子ハ藩籍返還セント願フ然ニ子封建論ヲ唱フ藩論ト齟齬スルニ似タリ如何某答曰然ラス寡君ノ板籍奉還セント願フハ一家ノ事ナリ将来ノ國是ヲ論スルハ豈一家ノ私ヲ以テ論スヘケン

方今　聖德光輝萬方ニ發越スル時寡君不才ヲ以テ
聖天子ノ為ニ土地人民ヲ治ル能ハス不堪ヲ恐レ版籍ヲ奉還シテ無
奪　天裁ヲ仰ント欲ス最所ニ朝廷之ヲ收メ王
政ノ國體ヲ損セス寡君ヲ指テ聊カ処ナリ但将来
皇國是ヲ求スルニハアラス賤臣ノ論ル所私情ヲ去テ至正公平ヲ
皇國ノ為メニ論ル處ハ一家ノ為ニ論スルニ非ス
或曰然ラハ子ノ君奉還ノ不可ナルヲ知ナカラ板籍ヲ奉還セント願フ
不忠ノ心ヲ如何ス曰寡君ノ不可ナルヲ知ナカラ板籍ヲ奉還セント願フ
者ハ遠ク最尤ル一家
朝廷之ヲ損セス寡君ヲ指テ聊カ処ナリ
曰寡君郡縣ヲ以テ可トスルヤ否ヤ未其詳ヲ知ス然レ共三藩ヲ不可ヲ知ラ而之ヲ為ス
者ナランヤ唯才ノ不博ヲ恐テ賢者ヲ避ントス最尤ル一家
朝廷之ヲ板籍ヲ收
メ玉フモ國體ヲ損セス寡君ニ於テ甘心スル処ナリ
郡縣ノ説ヲ
持シテ奉還スルニ非サルヲ可知也

今度御国之ノ大基礎ニ可被為立御会議者
仰出之間各見込可差出旨被
勅諭之通被
玉不但奉答候御国体ノ儀ニ付テハ封建御確定相成事柄旨既ニ奉建言
仕ル右ハ時論富国強兵ノ説ニ以郡県制度主張ス者多ク一應ハ
尤ニモ相聞ヘ候ヘ共維新ノ大業ニ至リ土崩瓦解ノ憂難測外国ノ交際ノ合
ニ方テハ別ニテ御国体ニ於テ度奉存候但シ諸侯ヲ御制馭社稷候御
大権相立候ハヽ諸侯ノ富ハ即天子ノ富諸侯ノ兵ハ即天子ノ兵ト相成リ是
ニ過キ名富強ハ安ニ倍ト奉存ル此度諸藩版籍返上ノ際ニ乗シ廃藩置県
奪生殺與奪ノ法ヲ確ト被為立大権ヲ御握リ ニ越ス ハ国家盛衰ニ諸侯
ノ藩屏ト相成御国運永久維持可仕奉存候
一外国御交際ニ付諸藩脱籍不逞ノ者有之トモ御法令届キ難キハ藩屏ノ制
不宜ノ故ト云説モ承ル ニ決シテ左様ニ有之間敷ト風俗ヲ正シ天下ノ方向一定
仕ル ハヽ 軽挙妄動ノ輩地ヲ掃テ相絶可申
一方今御制度相立不申 風俗モ一定不仕各人方向ヲ取失ヒ軽薄ノ風

日ニ甚シク夷人同様ノ形容ヲ成シ者モ多ク相見ヘ候風俗ノ駁雑ナル古今未
曾有ノ事ニテ既ニ外国人モ笑ヒ居ル ヤニ承リ ル堂ニ 神州今日ノ姿立至
リ候事有之ノ者慨嘆スル外ニ ナシ畢竟 不知者ヨリ見ル時
皇国ノ御制度ヲ変セラレ外国人ノ嘗嗤ニ ヨリ杞憂ノ餘悲憤ニ絶ス外夷ヲ仇讎ノ如ク視怒ヲ選ミテ妄動ニ
及ル ヒモ不少 ヒ仰願ハ至尊ニ被髪胡服ヲ御厳禁アラセラレ更ニ衣
服ノ制ヲ立サセラレ慶其他厚人倫敦風俗ノ教ヲ御厚ク制度ノ中ニ設ケ
給ハンコトヲ奉願候外国人ヲ見ル ニ支那ハ支那ノ風俗ヲ失ヒ英ハ英佛
ハ佛ノ風ヲ変セス交接致シ居ル ハ誠ニ同感ニ右ヲ以見ル ハヽ各其俗ヲ
守テ交ル交際ニ於テ断ナキ事ト奉存候御国事異ニ日ニ開
ヘ 此物主不明時 自開 御建中也 ヒ度此頃制度定察御設ニ
相成ル ニ ハ 例定テ追ニ天下ノ方向モ相定リ御申ト雖有奉恐候
一新際専兼雇家僕御登庸ハ中略ニ今日守成ノ大基礎立テ人物ノ御選モ自天聖ニテ遠識高徳者ノ間全庸被召在
内ハ億兆ノ民外ハ諸侯ノ輩ハ対サセラレ信義ヲ失推誠欠換被為在ル ハヽ 聖德日
新萬民雨露恩ノ御澤ニ沐浴敷服仕ル事ト難有奉存候
右ハ浅近ノ愚ニ官 ニ得共今日ノ御急務ト奉存候微賤ノ陪臣 聖旨感激ノ
素ヨリ才識識間得失ヲ不弁ニ ヒ

原市長清
餘閣下近上言仕候
廿四日
詳長公閣下

○第九号　天主教

天主教ノ設ノ議　天主ノ教ハ某未其詳ヲ知ラスト雖モ近古以来皇国ノ厳禁ナルヲ以テ我皇国ニ施スヲ得サル者アル知ル
天主教ノ禁止ヲ解ク　天主教ハ某未其詳ヲ知ラスト雖モ近古以来皇国ノ厳禁ナルヲ以テ我皇国ニ施スヲ得サル者アル知ル
ハ極ナテ不可ナリ　何ントナレハ　天主教ハ浦上ニ萌芽スル　綱紀
事他ノ時ニ在テ外国人ノ其教法ヲ保護スル至シリ我其
教ヲ奉スル者ヲ並ヘテ之ヲ誅セハ彼必交際ニ於テ孫ヲ
生シ不測ノ御国難ヲ引出スヲアラン且亜教ノ浦上ニ萌芽
スル綱紀　他ノ時ニ在テ獨リ異民ノ罪ノミニアラス今之ヲ説論
又ルモ必同結ノ執迷復ヲサルモノアラン　四千ノ民豈アヲテ
誅スヘケンヤ　雖然其教ヲ追ヒ蔓延ヲ
防ク　蔓延シテ遂ニ禁除シ難キニ至ル　是早ノ之カ所ヲ為スン
ハアラス去年一家如ニ於テ　内布告ニ相成ル　全国諸藩ヘ内訓ノ

樺太医ハ守公庶人
服部清三郎元彰

侯　伊仁恒ノ
民ト説度絶交トハ是開墾土工金工等ニ用ル心特ニ良民ト雑
ハラサルヲ得サレハ苗ヲ害スルノ害スルノ
移ル　苗ヲ害スル種ヲ二十四人ニ播ク第ノ得ル者ニアラス謹考
ルニ如是ノ徒ハ国ヲ窃ル　詳考十八人ニ命モ　怨ニ欲ニ飽ニテ
之ヲ説諭セシメハ執迷不復ト雖モ必其罪ヲ知ル者アラン　是ニ於テ
其主要ヲ誅シ餘ハ尽ク之ヲ遠外ニ投與ス　一人ノ国内ニ居
ラシメス　殺ハ必空テ之ヲ保護セン　綱紀
而ル更ニ国難ヲ招ク将来ノ法ヲ立テハ庶幾ハ其振ヲ絶ツ及ヘキ歟

○第十号　切腹禁止

切腹ノ刑ヲ禁止シ氣節ヲ厚クシテ廉恥ヲ知ル者ヲシテ自改奮励国家ノ
用ニ資アラシメントノ議　誠ニ好生ノ徳音　才ノ道在上人ヲ注意スヘキ
處ナリ　其論ハ必ス　然トシテ可観　雖然　時勢アリ　其実ヲ講セスシハア
ラス　我　皇国固有ノ士氣廉恥ヲ以テ本トナス之ヲ故無シ之ヲ培養

スル其国有ニ依テ厚クセズンハアラス刑ノ切腹アルハ二廉恥ヲ培養シ
士氣ヲ鼓舞スル者ナリ刑ハ不上大夫トヲヘルモ廉恥ヲ養フ所以ニ
テ言外ノ味アリ刑ノ教ニアツカル所以ナリ議曰其人果シテ罪アラハ則
国家刑罰ヲ設ケ以テ其罪ヲ懲ス

朝議ノ衛侑ノ切腹拳ニ至ラシヤ是
ノ国ニ諸ルヘシ無道ノ世ニ難テ千計万計其実ヲ訴フルモ必白スルヲ得サル
者アラン志士仁人ノ常ニ切歯スル所ナリ今ノ御新陰運ニ当テハ
実柱ハ有ル間敷ヲ且切腹ニモ種ニノ差アリ隊長名者身ヲ殺シテ士卒
ノ命ニ代ルモノアリ臣子タル者君父ノ罪ヲ贖フ者アリ若君之ノ者存祖
先ニ祀者アリ而忠臣孝子ノ名ヲ全フス千里外百世ノ下之
ヲ聞ク者慨然トシテ奮起セスンハアラス是猶リ忠臣孝子ノ名アルカ如キナラス
又他ニ世ノ士風ヲ振起スル者ニ今之ヲ期セリ彼激烈氣振アル者忠臣孝
子ナル者決シテ甘シテ禁ヲ守ルハカラス一タヒ禁ヲ侵スニ至テハ又　朝憲ヲ
犯スノ罪ヲ重ヲシ是誠ニ痛惜スヘシ夫郡県ノ世ニ在テハ朝ニ貴臣ト成ルモ
或ハ又ニ庶人トナル人ニ深進ノ心アリテ自重ノ慮ナシ是以廉恥ノ風ニ乏シ

故ニ此禁モ行ハレヘシ西洋各国ニハ絶テ所無ト云モ宜ナリ今
皇国未タ邦国体ヲ改メ玉ハス人ニ自重ノ心アリテ其国家ヲ失ハサラン
ヲ欲ス校勘ノ智ニ至ル難尚浮ハ風俗ノ失ハサル者アリ故ニ西洋各国
ト同日而論スヘカラス近頃文明ヲ唱ヘ開化ヲ唱ヘ被
髪洋服シテ外国人ノ奴隷タル者アリ士風ノ衰ヘ廉恥ノ風将ニ地ヲ掃ントス是時ニ当テ
廉恥ノ風将ニ地ヲ掃ントス是時ニ当テ
恥ノ節ヲ養ハスンハアラス

[illegible]

一改ヲ二無キ所アリ

夫外国人ノ奴隷タルヲ甘シスルモノハ言ヲ費サス淫湯酒食ニ耽ル者或ハ要ニ
シ得テ廃疾ノ人トナル或ハ才子モ之カ為ニ奮戦シテ死ス或ハ
カ為ニ贏疾ス是誠ニ如キ[illegible]ノ如キハ其信ニ差異シカメテ御政治ヲ敷セラレ絶テ完柳ノ志士ナカラシメ彼
游蕩奢侈ノ俗ヲ矯メ玉ハ重言材ノ　御趣意貫徹シ廉恥ノ風モ振興
スヘク則如生ノ大徳ニ報ヒ可ク夫ヲ以テ

○第十二條

其第十二條ノ議論ヲ得テ先ツ二部ヲ設ケテ其議ヲ定メ及慶[illegible]熟議シテ未議者ノ目的何ノ処ニアルヲ解スルヲ能ハス是ヲ以テ故ニ論ヲ加ヘス断シテ之ヲ否トスルノミ

一拙ヲ其ニ示ス或ハ廃止ス其ハ随意トアレトモ二條トモ随意ト云合体ニ於テ

一大アラサルカ古法ニ本ツクヤ将西洋ニ本ツクヤ学ハ西洋ニ本ツクナラン

一日本ノ国タル一日モ武備ヲ忘ルヘカラス

一外以防身内以護身　只動乱ノ時ニ限ルヘカラス

一文明ニ赴キ人ニ自道義ノ尊ヲ知ラシム虚飾ニ過キス　是何ノ言ヤ自古刑措不用アルヲ至治ノ美事トス而未刑ヲ設サルヲキカス　今既ニ文明ナリヤ道義ノ尊キヲ知ルヤ粗暴殺戮ノ悪習船ヲタルヤ手ヲ触ル所ヲ以スレハ　皇運日ニ隆興スト雖礼部ヲ砥砺スルヲ知ラス況ヤ道義ノ尊キヲヤ　是ヲ至治ノ後ニ論スルモ未遅カラス

一新習ノ一新シテ　皇及隆興ノ際ニ裨補アル事ヲ思フ　一新スヘキ禁習最甚シキアラス

皇及隆興ヲ妨ケル物ヲ更新シ裨補アルヘシ

○上局　御下問、君度ヲ以テ改為答案

一版籍返上ニ付追ニ衆議被　聞食候処全ク改令一途ニ出ルノ外無ク依而府藩県三治ノ制ヲ以テ海内統一可被遊　御旨趣ニ付改而知藩事ニ被仰付候間所存無忌憚可申出旨奉拝承候右兼而建言仕候通三治ノ制ニ付諸藩職掌ヲ明定人心モ鎮定ス仕一同雖有可奉存候ト奉存候ニ付諸藩職掌ヲ明定ス仕候ニ付右様被　御聞食候ニ付ハ出及人心モ鎮定ス仕一同雖有可奉存候ト奉存候ニ付諸藩職掌ヲ明定ス仕候ニ付右様

一外国ニ交際ノ儀ニ付　御下問ノ趣奉拝承候此條モ先日拝答上言仕候ニ付兼テ仰望仕候處ニ御座候何卒　皇国ノ御制度御確立ノ為ニ自主ノ体裁御失不被為在様ニ

一理財ノ道ニ付　御下問ノ趣奉拝承候臣ノ弱年不才金穀ノ儀別ヒテ不案内ノ道ニ[redacted]候得共　論言ノ至重ニ奉業愚存ノ趣上言仕候

一悪金銀ニ事

右私鋳厳禁ノ法旧制ノ如ク盗鋳ノ者ハ厳科ニ處セラレ度候ヘトモ金銀銅トモ良好ノ品ヲ以テ新貨幣御鋳造アラセラレ模擬スルヲ触ハサラシメハ私自ラ盗鋳ノ悪相絶可申候

慶金通用停止ハ勿論ノ儀ニ付ヘ民間偽造ノ際諸處ニテ偽造致シ

良民ノ手ヘモ渡出落ケ居ニ候ハヽ即時ニ廃絶停止ヲ仰出ラレ雖
ノ何レ引替ノ道ヲ以テ通用停止　仰出サレニ様有ニ度奉
存候

一内外國債ノ事

右ハ一年一割ノ利息ト御見込アラセラレ候様ト奉存候是ハ一年
五分ノ利ヲ御定メ御下渡相成ニ候ハヽ如何其元債ノ御返済ハ御
見込ノ如ク十ケ年済ニテ可然歟ト奉存候

一歳入歳出ノ事

御別紙ノ趣ニテハ凡二分五厘ト御見積ニ候ハヽ別段薄税社仰出ニ成ハヽ却テ
凡組税ハ薄キヲ以道ト致シニ成ハヽ別段薄税社仰出ニ成ハヽ却テ
良民ノ実情ヲ釀シ候様可相成ハ奮ニ而ハ三分五厘ヲ以テ定
額ト致シ候ニ成ニ成リニ成ハヽ諸藩ニ至テハ四分ノ処モ有之候趣左ニ成ハヽ
ハ三分五厘ハ不高不低民モ難渋仕間敷ニ成ハヽ大抵平均三分五
厘ニ相當ル歟土地ノ肥磽ヲ以テ定ニ成ハヽ現米七十九万二千
五百石ノ現米ヲ得可ク且諸藩ヨリ定額ノ如ク軍資金上納仕ニ成ハヽ

十二万三千石餘ノ見米ヲ減スヘク候諸藩ヲ免ス事　御賞典ノ二十五万
石ハ永制ニハ中止モ無ニ成ハヽ不時ノ出費ニ成ハヽ次年ヨリハ御経費ノ
目ニハ入リ中間敷又降伏人御扶持ノ儀モ永制ニハ無ニ成ハヽ御定額ノ陪時入費ノ三倍ト奉存候
又諸侯ニ成ハヽ御定額ノ陪時入費ノ三倍ト奉存候
左ニ成ハヽ別中取締臨出無ニ様ニ成ニ成ハヽ勇名ヲ本トシ尚又諸藩ニ格
ニ成ハヽ候若右ニテモ不行届廉モ有ニ成ハヽ内外債皆廃止十
ケ年ノ間五厘ノ税ヲ増貢　仰付ニ成ハヽ
外ニ成ハヽ民徳徳浹洽萬民鼓腹仕ニ成ハヽ四分ノ免税　仰付ニ成共
下民ノ徳ニハ相成中間敷ト奉存候

○又諸侯其実ヲ審ニセラレサル中ニ成ハヽ百万金ニ下リ申間敷歟○

一理財ニ道　御下問ノ趣奉拝承候量入為出ノ儀ハ誠ニ會計ノ基礎ト承
リ候ニ御経費ノ諸費出入多ク御不足被為在候趣奉拝承候仰付諸藩ノ出制御制ハ在ラセラレニ成ハヽ
今日経済ノ才ニ長ニ成者ニ被仰付諸藩ノ才能ヲ見辺無御定ニ成
富国ノ道相立ニ可申歟

○第十五條

赦ハ古ヨリ有来リ多セノ論アリ[illegible]ハ利而大害ト云ハ法ヲシテ言フ所ニ偏頗ヲ下寃罪ヲ[illegible]ハ赦モ用ヒル所ナラン[illegible]或ハ兵革之後ニ承ケ大過之代ニ遇ヒ天下比ヒトシ不知不識ノ罪ニ陥ル者アラン[illegible]時ニ赦ヲ行フコトアリ夫刑律ハ永世ノ法ナリ赦令ハ一時ノ事ナリ一時ノ事ヲ以テ永世ノ法ヲ破ル可ラスヤ[illegible]

赦令所為之可知之法

赦ヲ非スル者 匡衡 吳漢 諸葛亮 孟光 [illegible]

[illegible]律永世ノ法ニ[illegible]天子ヨリ下庶人ニ至ルマテ之ヲ謹ミ[illegible]遵守セサルヘカラス然ルニ前ニ云ヘル如キ[illegible]其律[illegible]之ヲ誅セハ勝テ誅スヘカラス置テ問ハサレハ[illegible]ニ於テ不立トコロアリ是時ハ赦ヲ以テスルニ如カス是ハ律ハ永世ノ法ナレハ之ヲ変更セントヲ欲セス人主ノ特旨ニ付シテ刑律ヲ成スモ[illegible]ノ人主ト雖モ我意ヲ以テ律ヲ破ルヲ欲ハス故ニ別ニ赦ヲ設ケテ律外ノ律ト知ルモノナリ之ヲ以テ[illegible]赦モ亦廢スヘカラス然リト雖和漢古今ニ吉凶祥兆ニ付テ赦ヲ施シ以テ恒例トナスハ甚タ不宜[illegible]今ヨリ以来頻リハ恒例ノ赦ヲ止メ[illegible]不得止ノ時ニ方テ之ヲ用ヒハ赦[illegible]モ亦大ナラン

大意 赦ハ[illegible]盛世ノ事ニアラスト雖作用ナキニアラス恒例ノ赦ハ不[illegible]高明常ニ[illegible]

得ル時ハ之ヲ用ルモ亦ヨシ

○改體作改正ニ付

今般改體作改正ニ付[illegible]心附ノ儀ハ無[illegible]輝可[illegible]謹テ拝承仕[illegible]

[illegible]

[illegible]

ズル ノ條件アラバ大會議ヲ開テ之ヲ決スベシト文モ定文ニ成又豊臣氏ノ時ノ制ヲ
之ハ各其職任ノ重キヲ知リ敢テ自ラ輕ンセシメザル所以ナリトノ所條モ有之ル
三等官以上外國ニ對シ大臣ト稱スル所方ニモ時トシテハ酒樓ニ過リ妓女ヲ招ヘテ
酬宴シ玉フ人モ有之ヤニ承リ云是等ハ彰行ノ不謹トハ申シナガラ誠ニ大臣ノ體
裁ヲ失フノミ不已ナラズ 所條目 全ク 室文ニ屬シ候 是近 ノ儀ハ先ツ夫ニテ
相濟ミ可ト云ヘ共一旦所改正相成 以上 聊 モ 室文ニ屬シ候テハ天下ノ疑惑ヲ抱キ
候テ事ヲ倉卒ニ濟サル時ハ天下ノ後オニ洩ン ヨリ 智者ノ一失無キ能ハズ願クハ
追テ所改ニ付テ 一度 所存告 相成置 事ヲ
議決セ

○第九 身柄 駐 可 否 〃 〃

○第十 利子定限 否

○久保松友ヲ以テ申出ル事

二上ヲ稼ヲ新ニ家ヲ所同居ヲ許ス

此條ハ萬ト所ヲ如ク モノナリ 所一同稼所同居

所法ヲ法稼所夫婦稼ヲ方ハ 所法ヲ稼所同居

但所法ヲ稼所夫婦稼所同居ハ所出 ヲ

二 所家元始平石平士ヲ禄ハ千俵家住三千坪限度扶ハ必ず ヲ

但 ハ 減禄ハ所時市当ヲ禄ハ者 增禄ハ無 ヲ 飢寒ヲ不堪

者ハ代耕ノ禄ノ振ヲ ヲ飢寒ヲ堪ヘ市トス 五十石ノ者八十俵ハ過當ナリ

屋敷三千坪ハ大変ナリ 一時貫用ニ不堪且 情沸騰スベシ 也モ行シ難キ事

ナリ 減禄ハ在来ノ住居持ヲ難キ者アリ 其ハ別テ二ツニモ三ツニモシテ置

キ後年造作ノ時棟ヲ別ニスベシ

但役給何千金ト所ヲ有ヲ度ト又席順ハ但来ノ高順ニ ヲ ハ門

閥度ハ ノ 所沙汰ヲ事ハ此事モ為ト 振奇別 役ヲ公ト

所俸禄ヲ所ヲ

役給何千金ト定ル 所ヲ一理ヲキニアラズハ三郎殿ノ如キ

ハ士族ノ上首トシテ可然是迄所家元ノ家ハ其次ニシテ尚並士族ノ
上席タルモ実ナシ其他ハ総テ階級ナシ○門閥廃止ト門閥ヲ以
テ取扱ヒ[illegible]ノ廃セラレタルヨリ家ハイワリモ家ハイワリモ華族ハイワリモ
モ華族又此度其族陪臣ノ向モ士族トシテラレタル族類ハイワリ
モ族類アリテ可然

三
一平士格等ノ大小性及扶持少高已下是軽迄夫ヲ相応ノ所扶持下
度事

（別紙）
従家作小浪ヲ目見格ノ年限等者ハ[illegible]引
[illegible]事

四
一当三年ノ内新知又ハ浪人格大小性落士所目見格ノ年限等者ハ[illegible]引
上ヲ[illegible]事　所国澤ノ祝儀又[illegible]
此系ハ所料所家用アリテ可然但ハ徒士等所目見格ノ者級別然
ト云ヘトモ人ノ制度[illegible]ノ内ニテ[illegible]モ[illegible]
ニテ下サレ度モ無理

五
一家人ニハ[illegible]　両度様ニ[illegible]
[illegible]内[illegible]人選可然事

但[illegible]
[illegible]一向解ニ[illegible]人ノ[illegible]ト[illegible]
[illegible]ノ取扱人無ニテ不叶事

六
一同役同等及所[illegible]事　従[illegible]
同役同等ハ所度出モ可然然[illegible]家従ノ内ニテ自ラ[illegible]
ニ度止ニテ[illegible]所[illegible]所[illegible]
同役ノ心得ニテ極所[illegible]ハ[illegible]

七
一所坊主所度止ニ事　但[illegible]
[illegible]
[illegible]坊主ニ度止ハ[illegible]
四位士或ハ小役人ノ内ヨリ多ニ言ニテ者ヲ選ニテ用或ハ[illegible]
○所家ハ[illegible]坊主ハ度僧トシテ者ヲ可[illegible]
[illegible]領ナトモ宜カレ[illegible]尚所[illegible]

八
一介添目ハ一藩ノ中下向入札ニテ[illegible]
入札ノ事ハ自ラ藩論ヨリ一藩人札ト云ヘ尚更議ハ[illegible]ヨリ[illegible]

三ヲ進ニ入札法アリ其撰モ進ニ承ル者ニ入札ニスル時ハ所廷ヨリ以上ヨリ入札
スルトカ何トカニセスハ難事アル（ヒ尚御熟評ニアル）
但大ニ改革ヲ行ヒ藩臣モ入札ニ其撰ニ長ケタル人ヲ撰ミ藩ニ長ケタル人ヲ撰ミ藩ニ
入札ノ事ハ前ニ論ス人員減少ハ有然ニ人員ノ減省ノ事ハ此度ノ
所論ニ戦員減省肝要ノ事

九 一 賛家ニ生ル其術ヲ学ブ者ハ士族ヲ以テ本トスル者ハ花モ有ル（ヒ）然レトモ向後ハ相
此第ニ出ル士族ヲ以テ出精致サル向多カル（ヒ）ヲ勉強ノ道ヲ塞キ其後
若シ学ブ者ハ農業ニ後ル士ニナル（ヒ）金疑ヲ置シ勉強致サル者ハ
徒士トスヘキ事

十 一 東西郡ノ郡住者ハ用人及附属ノ者ハ事中月ヲ以テ兵隊ヲ編成シ
第用アリ

十一 一 郡ノ所ニ先ヲ教其外度ヲ定メ此服所数ヲ定メテ其教ヲ
但ヒ所教ヲ以テ用ル事

十二 一 所ニ制ヲ定メ学ブ者ハ人ヲ撰ミ文武西洋ヲ学ブ
ヒ所ニ行ヒ学ブ事 ○正ニ上ヒ上ヒ

第二年ニ満ル如ク当今ノ所産ニ三ツハ地モ所有コレアルマシ
ヒ文武ノ士 是ハ所ニ役ニ三ツヘキ者ハ役ニ命シ其役給アル（ヒ）

○山口郡事ヲ定ル条

一 倍ヲ天ニ風ヲ仰ク所ハ所ヲ所ヲ
ヒ長ヲ一経ヲ長ヲ
ヒ長ヲ
ヒ長ヲ
ヒ

一藩家事ニ家　仰セ出サレ候ハ、藩士相防ぎ候ハ、一端もかゝる事

ニ付ても藩士ニ家ハ仰セ出サレ候ハ、藩士相防ぎ候ハ、一端もかゝる事

ニ付ても藩士ニ家ハ仰セ出サレ候ハ、藩士相防ぎ候ハ、一端もかゝる事

ニ付ても藩士ニ家ハ仰セ出サレ候ハ、藩士相防ぎ候ハ、一端もかゝる事

一入札ニ人撰ニ付　仰セ出サレ候ハ、藩士相防ぎ候ハ、一端もかゝる事

ニ付ても藩士ニ家ハ

ノ仰出サレ三ハイヤサウ成ル事ナリ

一文武ヲ兼備ル事ハ一ツ国ニ一人ニ限ル事ニ非ス極ル所ハ国ニ人ニ
無ル所ハ一国ニ一人ニ限ル事ニ非ス其人ニ依テ一ツ国ニ一人ニ
失フ所ハ一国ニ一人ニ限ル事ニ非ス其人ニ依テ一国ニ一人ニ
ヲ失フ所ハ一国ニ一人ニ限ル事ニ非ス其人ニ依テ一国ニ一人ニ
理ニ聴機上ハ第一ニ兼備ノ人ヲ取ル所ハ武ノ方ニ
付テハ武ノ方ニ付テハ世事ニ通ジタル人ヲ取ル所ハ
ヲ以テ国風ヲ矯ル所ハ文ノ方ニ付テハ武ノ方ニ
ヲ文学ニ集ル人ヲ仕ヘ所ハ第一ニ教化ニ注意シ
兼用ニ付テハ文ノ方ニ事ヲ分ケ治ル事ニ仕ル
仕様ニ付テハ

文学ハ典隆ノ分論　朝廷ノ仕組ニ成ル

リタシ教授ヲ命セラレテ役給アルヘシ是等ハ皆　朝廷ノ等級ニ準シテ
料所アルヘシ但武執ノ仕世話ニテ　朝廷ニテハ聴カス萬ヲ量宜スヘシ

一前ノ如ク御家ノ役ハ武ノ方ニ付テハ武ノ方ニ
是ハ　朝廷ノ御弘意ヨリサシテモ此教導方ハ餘程心ヲ用ユヘシ細民ト

モ各其本業ヲ工ルカセニスル如ク成行テハ以ノ外ナリ其一教ハ二孝弟忠信
ヲ以テシ本業ニ勉ル様ニ導キタシ
仮令弟ヲ仕ル事ハ

一八前ノ如ク学事ハ時ノ量テ施行スヘシ
最ト重事ナリ

一九前ノ如ク武ノ方ハ士族ノ内ハ
最ト采用アルヘキ事　後ハ他藩ニテハ百姓ノ縁組ハ聊構ナキ方多シ尤ト
領分内ノ百姓ハ郡役ナトノ者ニ内縁アル時ハ不都合ノ事モアルニテ
禁セラレタルナリ御領分内ノ百姓ハ御領分内ノ百姓ニ
スヘシ他領ノ百姓ハ決シテ不苦尚天下一般ノ風モ可聞合
但シ年五ヶ年九ヶ年ニテハ家業ニ少シ縁組ハ中分
天ノ事ニ成

十一朝廷ノ仕組ハ第一ニ国風ヲ矯ル事ニ
兼用ニ付テハ武ノ方ニ付テハ武ノ方ニ
ヲ以テ国風ヲ矯ル事ニ付テハ武ノ方ニ
上ノ事ニ

コレハ今度旧制ニ因循ナルヲ改ムル事　既ニ為ス所ト云ヘシ

但し
公庫ニ納ムルハ如何ニシテヤハリ所家附キノ庫ニ納メ置可然歟此度ハ
信濃ヲ後藤治ト相違アルヘシト雖モ覚悟肝要ト
ハ格別替リテハ不可無歟
但し諸向ヨリ紙屋ニ家ヲ以テ申渡シ成ル通ニ成ル
様ニ書シ取シ事ニシテ尚ホ紙ヲ屋ニ
用ル所ニ成ル様ニ
こし一法ヨリ通ル所ニ用アリテ可無
一無限ニ認メ方ノ事ニ
十一
一日本国ニ
十二
一上ニ
此条ヨロシカルヘシ
十三
一ソノ
度ヨリ
官トノ
大抵家令ハ百俵高　家扶八十俵高　家従六十俵高
家令ハ百俵高　家扶八十俵高　家従六十俵高
○所改革　暑来　暑来候ニ付
一大坂府ニ吏法所等ヲ一等ヨリ五等ニテアリ兵庫県モ同様ニ三等級ノ月給ハ
右ニ準シ吏法所等ト云フヘシ所様目　右ニハ
ハ別ニ世禄ナケレハ其治多クハ諸治士族ハ勿論已下トテモ大小世禄ナ
ソノ世禄ヲ結ヒテ月給ヲ定メ大凡石数
一家令ハ下帳面ノ月給ハ家禄ノ内ヨリ賜フトコロ令秩俸等ノ階級法
官トノ差等ヲ以テ目的トシテ定メヘシ

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

○会計局　月俸一俵半
筆生長　月俸一俵半
○民政局　月俸一俵
○執法大局　月給一俵
○兵隊長　三百俵
副長　二百五十俵
小隊長　百五十俵
○学館教授　月俸二俵
槍剣教授　月俸一俵
○出納長　月俸一俵半
○蕃務長　月俸一俵半
○紙幣長
○租税長　月俸一俵半
○陸海長　月俸一俵半
○社寺所　月俸一俵半
○日少局　少局長月俸三斗
○兵器長　月俸一俵半
○筆生　月俸二斗
○舟船所　月俸一俵半
○兵隊三口之内
○助教　月俸一俵
○句読方　月俸一口

(二)

一減禄

○三百石以上　九百石迄　百俵
五十石以上　九十九石迄　五十俵
右五十石以下卒ハ減セラレサル筈ニ付

○二百石以上　二百九十九石迄　七十五俵
○百石以上　高ニ応シ高百石ニ付　四十俵ニ不過　四十俵ニ過ル分ハ四十俵ヲ以テ
但シ高百石ニ付　四十俵ニ不過　四十俵ニ過ル分ハ四十俵ヲ以テ

一嫡子ニ不満ノ者ニ対シ家禄ヲ分ル事ハ
但シ兵隊一人月給三口

一藩中ハ世襲ニ付キ
一公廨費用百石ニ付
一諸家ノ法税数百石ニ付
一法令ニ付キ負数百石ニ付
但法令ノ部ニ付キ新来ニ付
右ハ早ク取調
入念ニ書出
一[illegible]

一御所様御邸、御所ニ居住ハ、御所ニ居住ハ、金ノ間ヨリ御所向ハ御次ヨリ御茶ノ間、御井戸常ニ吾ヲ
一冠婚葬祭ハ御家事ニテ家令以下ノ官吏ハ大少参事
ノ事ヲ執ルヘキニ非サルニ似タリ
○ゆゑ

大参事
少参事
権少参事

堀五郎
横山孫三郎
田浦平格

左参事
左参事
左参事

吉田文吉
山岡文吉
[illegible]

[illegible]

○九月

士族三等
上士
中士
下士
卒族二等

五職位
禄士
徒士

参職ニ士卒階級ノ区別アルニ分参職ニ準ス
百俵ノ者ヲ一等上士トス
五十俵以下ヲ二等上士トス
(給人格 大小性)
一等中士
二等中士
徒前徒士トテ士ノ名目アレハ随分士族ニ組込テモ可然歟

士族三等
上士
中士
下士
卒族三等

百俵
五十俵以下給人格ニ
大小性

上卒
中卒
下卒
卒族三等

徒士

上卒
中卒
下卒

徒士ヨリ小役人迄
三性 新組 町組 水主

徒士ヨリ小役人迄
三性 新組 町組 水主

表向ニ唱ヘラレサレハ藩内ニテハ准士ノ扱

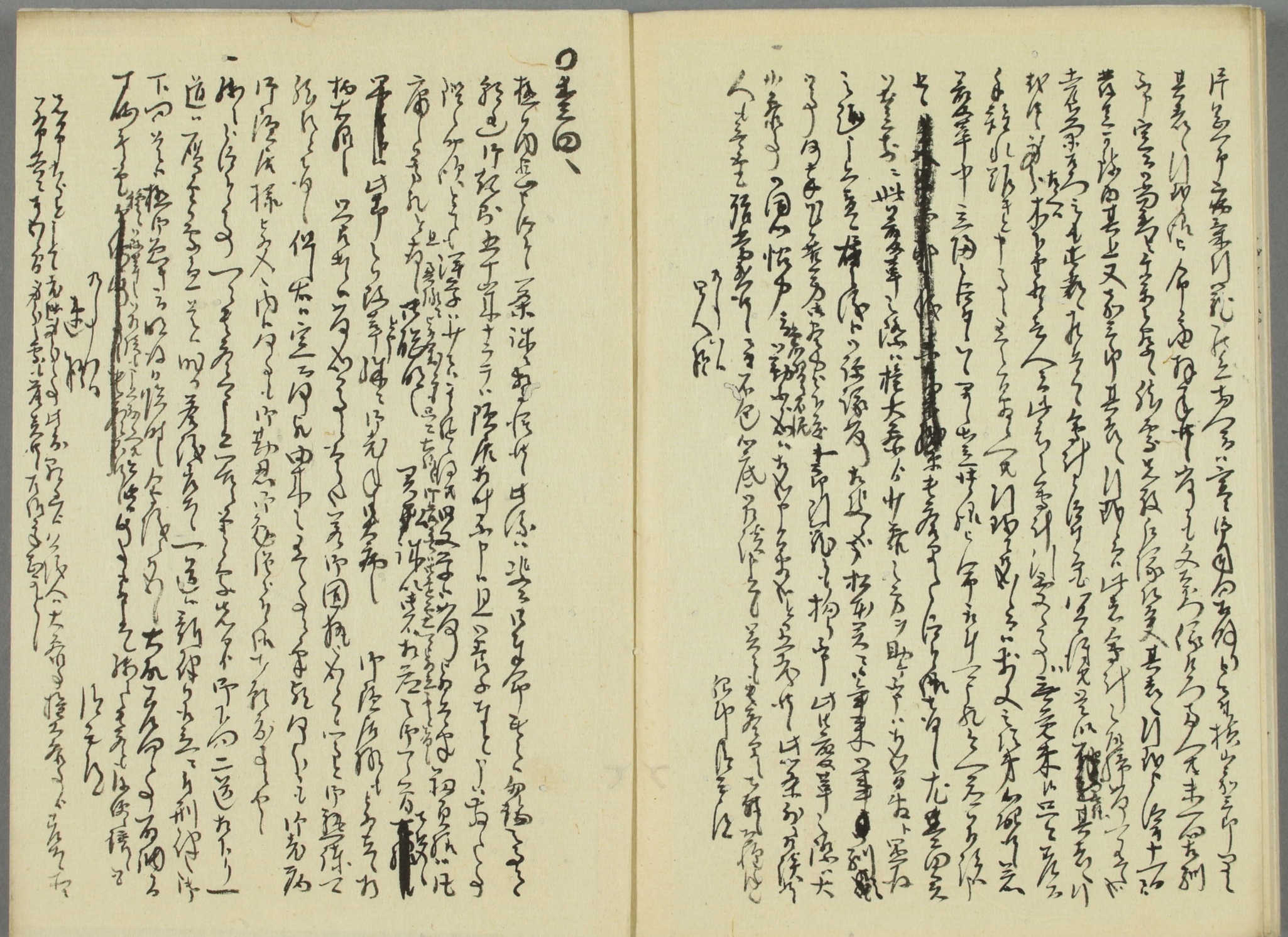
はもの始ノ等ヲ立テ徒士ヲ一等上卒中卒ヲ二等下上卒ヲ三等上卒トシテモ
右ノ如ク等級ヲ立ルハ中級人ヲ一等中卒小役人ヲ二等中卒トスルモ可ナリ
准士ノ扱
若又人心不居合ハ上卒内ニモ一二三ノ等級ヲ立テ下卒内ニモ等級ヲ立テ前ノ士族ノ如ク致スモ可ナリ

右ハ徒士ヲ一等上卒中卒ヲ二等下上卒トシテモ
上卒トシ以下ヲ下卒トシテ可ナルカ兎ニ角人心居合ヲ第一ト致スニ三性ハ除リ
旧藩ニ泥ミ階級ヲ多クスルハ御趣意ニアラサルニ似タリ 御見込ヲ
右ハ徒士無役ノ人ノ事ニテ雖モ役附ノ時ハ役ニ判然タル等級アリ無役ハ兵
隊ニ組入ルヲ除リ身分ノ階級ナリテモ可ナラン歟
右西松[illegible]

○遠藤三郎

○山口弥兵衛

○同別江



117 1918(2)